

駿河湾の深海性頭足類

(要旨)

Upper Bathyal Cephalopod Fauna in Suruga Bay, Central Japan

窟寺恒己

Tsunemi Kubodera

国立科学博物館・動物研究部

Kubodera, T. (1997). Upper bathyal cephalopod fauna in Suruga Bay, Central Japan. Deep-Sea Fauna and Pollutants in Suruga Bay, National Science Museum Monographs No. 12: 125-148, pls.1-2 (1997). に掲載

1993 年から 1996 年の4年間に国立科学博物館動物研究部が行った「駿河湾における深海性動物相の解明と海洋汚染の調査と研究」で得られた頭足類を調べた。採集は小型トロール漁船によるかけ回し式の底曳網を用い、主に駿河湾の西側陸棚斜面と沖合いの石花海堆の水深 150-1000m で28回の曳網が行われた。また、東京大学海洋研究所の淡青丸により、湾中央部の水深 1500-2500m 付近まで 3-m ビームトロールを用いて5回の採集が行われた(図1)。得られた頭足類は 1157 個体で、10 科 13 属 23 種が査定された(表1)。そのうち、トサウデボソコウイカ、ワタゾコボウズイカ、オオクラゲダコ、ツノモチダコ、ヤワハダダコ、キシュウチヒロダコの6 種は駿河湾からの初記録である。Kubota et al. (1993)の報告に加えると、駿河湾から 76 種の頭足類が知られていることになる。

出現した 23 種のうちホタルイカモドキ、ゴマフイカ、ムチイカ、ヤワハダダコの 4 種は中層遊泳

種と考えられ、揚網時に採集された可能性が高い。また、ケンサキイカ、ヤリイカ、スレメイカの3 種は遊泳性の高い普通種であるが、日中の海底付近で休息中のものが偶発的に捕らえられたものと思われる。残りの 16 種は、陸棚から上部陸棚斜面の底性あるいは近海底生息種と考えられる。そのうちコウイカ科のイカ類が7種を占め、駿河湾の比較的深い水深まで生息していることが注目された。

駿河湾の底性頭足類相を土佐湾沖(奥谷ほか, 1987) と三陸・常磐沖(Kubodera, 1996) の調査と比較すると、駿河湾に出現した 16 種のうち 11 種が土佐湾沖にも出現し、一方三陸・常磐沖では2種が出現するに過ぎず、駿河湾の底性頭足類相は西日本太平洋のそれとほぼ共通することが示された。日本太平洋側の浅海性動物相では、亜熱帯性要素と温帶性要素が入れ替わる動物地理学的境界が銚子付近に存在することが報告されているが(西村, 1992), 陸棚か

表1. 駿河湾の陸棚斜面上部から底曳網で採集された頭足類リスト(1993-1996)

SEPIIIDAE	
<i>Sepia (Platysepia) madokai</i> Adam, 1939	ハリイカ
<i>Sepia (Doratosepion) kobiensis</i> Hoyle, 1885	ヒメコウイカ
<i>Sepia (Doratosepion) lorigera</i> Wülker, 1910	ウスベニコウイカ
<i>Sepia (Doratosepion) longipes</i> Sasaki, 1914	テナガコウイカ
<i>Sepia (Doratosepion) tenuipes</i> Sasaki, 1929	ウデボソコウイカ
<i>Sepia (Doratosepion) subtenuipes</i> Okutani et Horikawa, 1987*	トサウデボソコウイカ
<i>Sepia (Doratosepion) aureomaculata</i> Okutani et Horikawa, 1987	ハクテンコウイカ
SEPIOLIDAE	
<i>Rossia mollicella</i> Sasaki, 1920*	ワタゾコボウズイカ
<i>Rossia bipapillata</i> Sasaki, 1920	ヤワラボウズイカ
<i>Sepiolina nipponensis</i> (Berry, 1911)	ギンオビイカ
LOLIGINIDAE	
<i>Loligo (Photololigo) edulis</i> Hoyle, 1885	ケンサキイカ
<i>Loligo (Heterololigo) bleekeri</i> Keferstein, 1866	ヤリイカ
ENOPLOTEUTHIDAE	
<i>Enoplateuthis chunii</i> Ishikawa, 1914	ホタルイカモドキ
HISTIOTEUTHIDAE	
<i>Histioteuthis corona inermis</i> (Taki, 1964)	ゴマワイカ
OMMASTREPHIDAE	
<i>Todarodes pacificus</i> Steenstrup, 1880	スルメイカ
MASTIGOTEUTHIDAE	
<i>Mastigoteuthis (Idiotheuthis) cordiformis</i> Chun, 1980	ムチイカ
OPISTHOTEUTHIDAE	
<i>Opisthoteuthis depressa</i> Ijima et Ikeda, 1895	メンダコ
<i>Grimpoteuthis cf. albatrossi</i> (Sasaki, 1920)*	オオクラゲダコ
OCTOPODIDAE	
OCTOPODINAE	
<i>Octopus minor</i> (Sasaki, 1920)	テナガダコ
<i>Octopus (Paroctopus) tenuicirrus</i> (Sasaki, 1929)*	ツノモチダコ
<i>Pteroctopus (Berrya) hoylei</i> (Berry, 1909)*	ヤワハダダコ
<i>Octopus</i> sp. 1	
BATHYPOLYPODINAE	
<i>Benthocotopus cf. abruptus</i> (Sasaki, 1920)*	キシュウチヒロダコ

*: 駿河湾からの初記録。

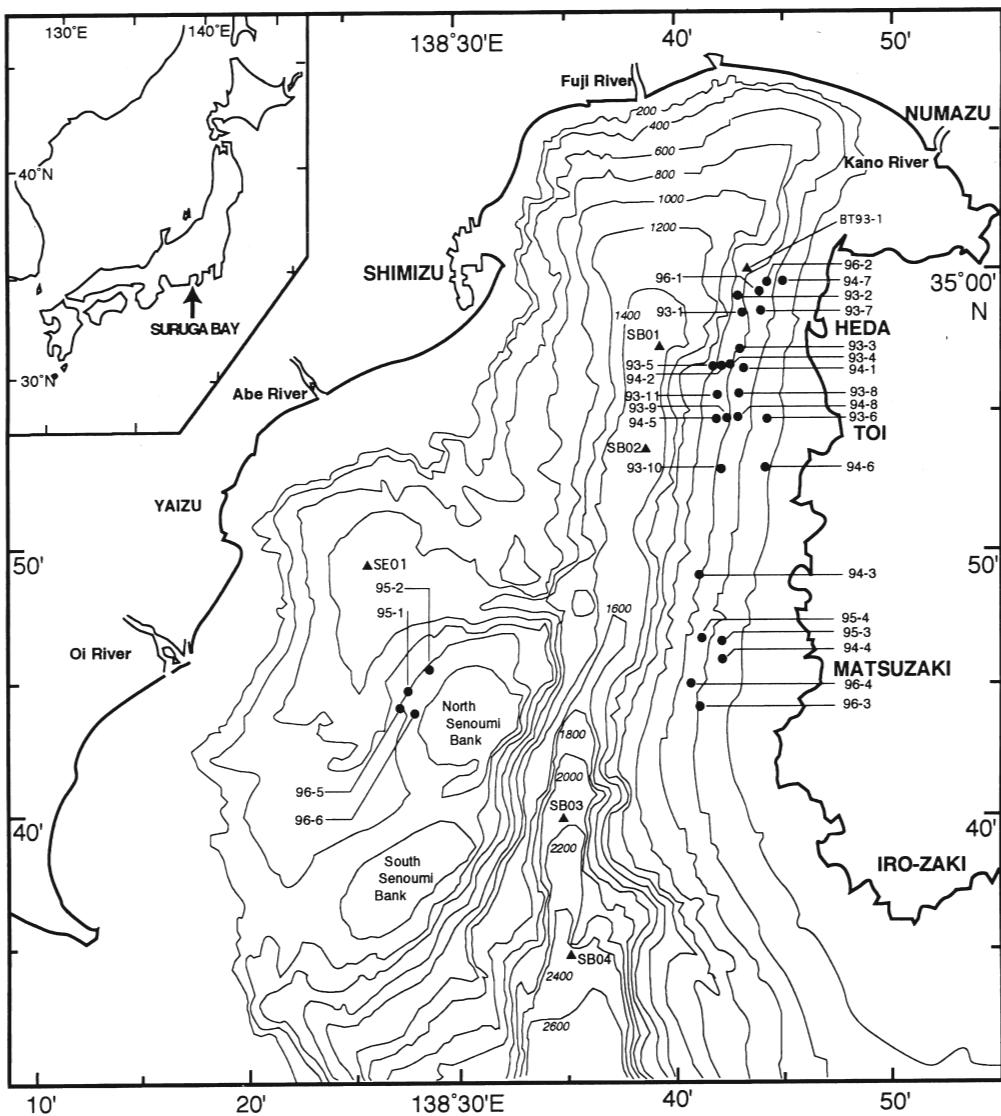


図1. 1993～1996年に国立科学博物館動物研究部が行った駿河湾深海動物相調査で小型トロール船による底曳網(●)と淡青丸による3m-ビームトロール(▲)の採集地点

ら上部陸棚斜面の海底に生息する頭足類でもそのような境界が銚子付近に存在することが示唆された。

引用文献

- Kubodera, T. 1996. Cephalopod fauna off Sanriku and Joban districts, northeastern Japan. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, (29): 187-207.
- Kubota, T., Fukui, T. and Okutani, T. 1993. Cephalopods incidentally caught with

shirasu boat seine from Suruga Bay in 1988, 1990 and 1991, with the catalogue of cephalopods hitherto recorded from the bay. J. Fac. Mar. Sci. Technol., Tokai Univ., (35): 77-91.

- 西村三郎. 1992: 原色検索日本海岸動物図鑑 [I]. 概説. pp. xi-xix.
- 奥谷喬司・田川 勝・堀川博史. 1987. 日本陸棚周辺の頭足類. 日本水産資源保護協会, 194pp.